

## 岐阜市公立大学法人中期目標の骨子（案）について

### ◆目次

前文

- 第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織
- 第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標
- 第3 地域貢献、地域社会との連携及びグローバル化に関する目標
- 第4 業務運営の改善及び効率化に関する目標
- 第5 財務内容の改善に関する目標
- 第6 自己点検、評価及び情報提供に関する目標
- 第7 その他業務運営に関する重要目標

### ◆前文

岐阜薬科大学は、昭和7年に岐阜薬学専門学校として創設され、昭和24年に新たに大学として発足して以降、日本の創薬科学研究及び医療の発展に貢献している。

近年、少子高齢化の進行、自然災害や感染症に対する懸念の増大をはじめ、様々な課題が多様化、複雑化している中、地域を支える専門人材やグローバルに活躍できる人材の育成、産学官金を含む多様な主体との連携、地域課題への対応など、公立大学に求められる役割はより一層大きなものとなっている。

岐阜市は、こうした公立大学の持つ役割をよりの確に発揮していくため、岐阜薬科大学を令和7年4月に岐阜市公立大学法人へと移行し、自律的で機動的かつ効率的な運営を通じて、より質の高い人材育成、世界に発信しうる成果創出を含む研究力の一層の強化、そして地域社会への更に積極的な貢献を目指していくこととした。

このような観点から、次の3項目を基本的な目標に位置づけ、基本的な目標を踏まえて具体的に岐阜市公立大学法人が達成すべき目標を以下のとおり中期目標として定める。

（基本的な目標）

- 1 教育研究の質の向上に向け不断の取組を行い、創薬や育薬をはじめとする研究を推進するとともに、高度な研究に支えられた薬学教育を通じ、人の健康と福祉に貢献できる有為な薬学専門職業人を育成する。
- 2 市立大学として、岐阜市からの支援を受ける大学であり、地域に立脚した大学であるという認識を深め、地域と連携した教育研究や、教育研究の成果の地域への還元を推進するとともに、岐阜市のライフサイエンス拠点の形成に寄与し、積極的に地域貢献に取り組む。
- 3 適切なガバナンスが確保されるとともに、効率的で透明性の高い運営を旨として、常に業務運営や財務内容の改善に取り組み、将来にわたって持続的に発展可能な法人運営を行う。

### 第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織

中期目標の期間	令和7年4月1日から令和13年3月31日まで（6年間）
教育研究上の基本組織	学部：薬学部 研究科：薬学研究科

## 第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

### 1 教育に関する目標

項目（案）	記載事項（案）
学部・大学院教育の充実	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜薬科大学が掲げてきた「ヒトと環境に優しい薬学（グリーンファーマシー）」の理念の下、人と環境に配慮し、道徳的に優れ、応用力があり社会に貢献できる薬学人材を育成する。</li> <li>・アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーについて継続的に評価・改善を行い、教育の質の向上を図る。</li> </ul> <p>◆学部教育</p> <p>臨床研究力と基礎研究力の向上意欲を持ち、倫理観、学術知識、実践的な能力等を備え、広い分野で活躍できるファーマシスト・サイエンティスト<sup>1</sup>を目指す人材を育成する。</p> <p>◆大学院教育</p> <p>高度な研究を行い、薬学・科学の発展や地域医療と地域住民の健康の増進に向けて指導的役割を担うファーマシスト・サイエンティストを育成する。</p>
教育環境の充実	課題発見能力、問題解決能力等を身に付けることができるよう、教育環境の充実を図る。
教職員の教育能力・教育支援能力の向上	質の高い教育を提供するため、教職員の教育能力・教育支援能力の向上を図る。
アントレプレナーシップ（起業家精神）教育の推進	社会課題の解決に挑むマインドを持った薬剤師の育成を目指すとともに、起業家精神の育成に注力する。

### 2 研究に関する目標

新薬開発をはじめとする研究力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学分野における地域の研究拠点として研究力の向上を図る。</li> <li>・新薬開発においては、健康な社会の実現に貢献する挑戦的な研究を推進する。</li> </ul>
地域住民の健康と生活の質向上への貢献	人々が健康かつ安全に暮らせる地域社会の実現に寄与し、地域住民の健康と生活の質の向上に貢献する。
岐阜市の活性化と地域産業の発展への支援	産業界における研究を支援するとともに、研究開発マインドを持った人材育成を支援し、地域の活性化と地域産業の発展に貢献する。
倫理・利益相反に関する規範遵守	適切なマネジメントを行うとともに、倫理及び利益相反に関する管理能力を身に付けた研究者の育成を図る。
外部資金の獲得等による研究基盤の強化	研究費の戦略的配分から、更なる外部資金の獲得に至る好循環を形成し、研究基盤の強化を図る。

<sup>1</sup> 「臨床に従事しながら研究ができる、あるいは臨床の経験を生かして他の研究職域で活躍する薬剤師」（日本の展望—学術からの提言 2010 報告 薬学分野の展望（平成 22 年 4 月 5 日、日本学術会議薬学委員会）

研究成果の活用と積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的財産の活用や地域社会への還元を促進するとともに、国内外に積極的に情報発信する。</li> <li>・知的財産の戦略的な管理・活用を推進する。</li> </ul>
他研究機関等との連携	近隣地域の他大学や病院、薬局、国内外の企業、研究機関等との連携を継続、強化するとともに、新たな連携の創出を追求する。

### 3 学生への支援に関する目標

—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境や生活体制支援の充実を図るとともに、自身の適性に合った進路選択を行うことができるような支援を推進する。</li> <li>・全てのハラスメント行為その他の人権侵害行為を防止するとともに、人権尊重や法令遵守に対する学生の意識向上を図る。</li> <li>・障がいその他の事情により合理的な配慮が必要な学生に対し、適切な対応を行う。</li> </ul>
---	--

## 第3 地域貢献、地域社会との連携及びグローバル化に関する目標

### 1 地域貢献及び地域社会との連携に関する目標

地域課題等への貢献	地域社会における多様な主体との連携を一層深め、持続的発展と地域の多様な課題の解決に寄与する。
地域社会の医療・保健・福祉への貢献	薬剤師を対象に卒後教育を実施し、地域の薬剤師のキャリア形成を促進するほか、地域住民を対象とする公開講座等を実施する。
地域の産学官金連携によるイノベーション創出	産学官金連携の推進を通じ、イノベーションの創出等に寄与するとともに、岐阜市のライフサイエンス拠点の形成に貢献する。

### 2 グローバル化に関する目標

グローバルに活躍できる人材の育成	相互理解や新しい価値を創造する力、社会貢献に対する高い意識を持った人材を育成し、グローバルに活躍できる薬剤師及び薬学研究者の育成を行う。
海外の大学・研究機関への学生・教員派遣	海外の大学・研究機関における教員の在外研究の実施や、研究者の受入れ、大学間協定締結校との学生交流などを積極的に実施。
外国人留学生の受入の推進	グローバル化に対応した教育研究環境の整備などを通じ、外国人留学生の受入を推進する。

## 第4 業務運営の改善及び効率化に関する目標

### 1 法人運営の強化に関する目標

適切なガバナンスを確保するための組織体制の整備及び運用	理事長のリーダーシップの下で組織の運営・連携体制の整備と見直しを行い、大学の教育研究機能が適切に発揮され、社会の変化に柔軟に適応できる法人組織運営を行う。
-----------------------------	---

弾力的かつ適正な人事制度の構築及び運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弾力的な人事制度を構築するとともに、公正かつ適切な人事及び評価を行い、効果的な人事運用を図る。</li> <li>・教員の起業に関わる規程を整備し、教員の活動を促進し支援する。</li> <li>・全てのハラスメント行為その他の人権侵害行為を防止。</li> </ul>
人材の育成及びダイバーシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材の確保とともに、高度な専門性を持つ職員の育成に取り組む。</li> <li>・多様な人材の活躍を目指し、ダイバーシティを推進するとともに、労働環境の整備及び改善を行う。</li> </ul>
コンプライアンスの強化	役員及び教職員のコンプライアンス意識の徹底、業務遂行上のリスク管理の強化等により、適正な法人運営を行う。

## 2 業務の効率化・高度化に関する目標

—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務全般について不断の点検、見直しを行い、効率的かつ合理的な業務運営を推進する。</li> <li>・法人全体でDXを推進する。</li> </ul>
---	---

## 第5 財務内容の改善に関する目標

自己収入の確保に関する目標	競争的資金や産学官連携による共同研究費・受託研究費等の外部資金の獲得等を行い、積極的な自己収入の確保に努める。
予算の効率的かつ適正な執行に関する目標	財務状況の継続的な検証・分析に基づく適切な予算管理等を行い、自律的かつ安定的な経営を確保する。

## 第6 自己点検、評価及び情報提供に関する目標

自己点検及び第三者機関による評価の充実に関する目標	自己点検・評価、第三者機関による外部評価等の結果を活用し、教育研究と業務運営の改善と充実を図る。
情報の提供・発信による透明性確保に関する目標	積極的かつ迅速な情報の提供・発信を推進し、法人運営の透明性を確保する。

## 第7 その他業務運営に関する重要目標

### 1 施設・設備の整備及び有効活用に関する目標

施設整備の推進	施設・設備の適切な整備及び維持管理を推進するとともに有効活用に努める。新キャンパス整備に関し、岐阜市と協力。
---------	--

### 2 危機管理及び安全管理に関する目標

危機管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故、災害等の未然防止と適切な対処のための体制整備を行い、危機管理を徹底する。</li> <li>・情報セキュリティ対策の充実・強化に取り組む。</li> </ul>
安全管理の徹底	学生及び教職員の安全と健康を確保するとともに、快適な修学・職場環境の形成を促進する。